



平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月30日

上場会社名 ソフトブレイン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4779 URL <http://www.softbrain.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 浩文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 木下 鉄平 TEL 03 (6880) 2600
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	2,949	20.3	368	26.3	370	27.3	203	62.3
26年12月期第2四半期	2,452	20.4	292	78.1	291	74.2	125	56.3

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 225百万円 (37.2%) 26年12月期第2四半期 164百万円 (68.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	6.95	-
26年12月期第2四半期	4.29	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第2四半期	4,133	2,681	61.2	86.44
26年12月期	4,145	3,011	63.0	89.34

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 2,528百万円 26年12月期 2,613百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
27年12月期	-	0.00	-	-	-
27年12月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,400	9.4	650	14.3	650	12.3	300	18.7	10.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期2Q	30,955,000株	26年12月期	30,955,000株
② 期末自己株式数	27年12月期2Q	1,700,000株	26年12月期	1,700,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期2Q	29,255,000株	26年12月期2Q	29,255,000株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、従業員向け株式交付制度「株式付与ESOP信託」に係る信託財産として、日本マスタートラスト信託銀行株式会社（株式付与ESOP信託口）が所有している当社株式（150,000株）を含めております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1.（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(企業結合関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結業績は、

売上高 2,949百万円(前年同期比20.3%増)

営業利益 368百万円(前年同期比26.3%増)

経常利益 370百万円(前年同期比27.3%増)

当期純利益 203百万円(前年同期比62.3%増)

となりました。

当第2四半期連結累計期間では、主力事業である「eセールスマネージャー関連事業」と「フィールドマーケティング事業」を中心に売上高が好調に推移いたしました。利益面におきましても、業績が好調に推移した結果、営業利益、経常利益が前年同期と比較して増益となりました。また、連結子会社であるソフトブレン・フィールド株式会社の株式を追加取得したことにより少数株主利益が減少した結果、当期純利益は大幅な増益となりました。

各セグメントの業績については以下の通りです。

なお、当第1四半期連結累計期間より、従来、「その他」に含まれておりました「出版事業」の量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載しております。また、同じく「その他」に含まれておりました「iPad等を活用した業務コンサルティング及び教育事業」において、「eセールスマネージャー関連事業」に付帯する要素が高まったため、「その他」から「eセールスマネージャー関連事業」に含めることといたしました。前年同期比については、前第2四半期連結累計期間の数値をセグメント変更後の数値に組み替えた上で比較を行っております。

1. eセールスマネージャー関連事業

スマートフォンやタブレット端末でも利用可能な「eセールスマネージャーRemix Cloud」の販売を中心に、「営業マン育成コンサルティング」をはじめとした営業コンサルティングサービスや、iPad等を活用した業務コンサルティング及び教育事業を提供しております。また、継続的な開発投資により、幅広い顧客ニーズに応えるべく努めております。当第2四半期連結累計期間においては、「使い勝手No.1」に向けたスマートフォンアプリ「eセールスマネージャーRemix Mobile」のデザイン刷新を2015年1月に実施いたしました。また、タブレット端末での使いやすさを向上させ、営業現場での詳細な活動報告が可能となる手書き文字入力プラットフォーム「mazec for Business」との機能連携や、より付加価値の高いサービスや利便性を提供することを目的として、株式会社パイブドビッツが提供する情報資産プラットフォーム「スパイラル(R)」との連携による新サービスを開始し、クラウド・プラットフォーム上にリード発生から受注までの全行程を自動的に一元化することが可能となり、業務効率化と正確なデータに基づくプロセス改善の両立を図っております。

今後も継続的な開発を行い、「使い勝手No.1」を目指したソフトウェア強化を行い、さらなる競争力強化・事業拡大を目指しております。スマートデバイスの普及が市場ニーズを大きく高めている状況を踏まえ、開発投資のみならず、組織体制の強化を目的とした人材採用や、販売促進・広告宣伝への投資を強化しております。また、営業の課題解決にフォーカスした企業向け研修の受注が増えてきております。

以上の結果、売上高1,519百万円(前年同期比12.5%増)、セグメント利益180百万円(前年同期比40.2%増)となりました。

2. フィールドマーケティング事業

主にフィールド活動業務及びマーケットリサーチ等のサービスを手掛けております。当事業では、フィールド活動業務のノウハウをもとに当社独自のWebシステムを構築し、全国で主婦を中心に5.5万人を超える方々をネットワーク化するとともに、お客様のニーズに応じて、人材派遣など多様なサービスを提供しております。当第2四半期連結累計期間においては、新規の大型案件が軌道に乗り、新規案件も順調に拡大しております。前連結会計年度に本格稼働した「ラウンダー人材バンク」サービスにおいても大型案件の規模拡大や新規受注が好調に推移しております。

また、今後のさらなる事業拡大に向け、人材やシステムへの先行投資を積極的に進め、体制強化を図っております。

以上の結果、売上高1,096百万円(前年同期比33.6%増)、セグメント利益159百万円(前年同期比4.4%増)となりました。

3. システム開発事業

ソフトウェアの受託開発及びお客様のパッケージ開発・カスタマイズを中心にサービスを提供しております。当第2四半期連結累計期間では既存顧客におけるさらなる開発案件の創出と新規顧客の獲得に努めました。売上高は減少したものの、プロジェクト管理や品質管理を見直し、不採算プロジェクトを発生させない等の改善をした結果、セグメント利益では増益となりました。

以上の結果、売上高253百万円(前年同期比2.6%減)、セグメント利益0百万円(前年同期比57.2%増)となりました。

4. 出版事業

ビジネス書籍の企画・編集・発行事業を行っております。当第2四半期連結累計期間では新規顧客からの受注が増えた結果、好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高122百万円(前年同期比53.4%増)、セグメント利益28百万円(前年同期比226.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産の状況は、

資 産 4,133百万円(前連結会計年度末比 0.3%減)

負 債 1,451百万円(前連結会計年度末比 28.0%増)

純資産 2,681百万円(前連結会計年度末比 11.0%減)

となりました。当第2四半期連結会計期間末の財政状態の分析は、以下の通りです。

<資産>

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ12百万円減少し、4,133百万円となりました。その主たる要因は、受取手形及び売掛金が293百万円増加したものの、現金及び預金が300百万円減少したことによるものです。

<負債>

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ317百万円増加し、1,451百万円となりました。その主たる要因は、短期借入金が50百万円減少したものの、長期借入金が280百万円、前受金が100百万円増加したことによるものです。

<純資産>

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ330百万円減少し、2,681百万円となりました。その主たる要因は、四半期純利益の計上により利益剰余金が203百万円増加したものの、連結子会社株式を追加取得した影響等で資本剰余金が288百万円、少数株主持分が245百万円減少したことによるものです。自己資本比率は、61.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、平成27年1月30日に公表いたしました平成27年12月期連結業績予想から修正しておりません。

なお、上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれておりません。そのため様々な要因の変化により、実際の業績はこれと大きく異なる可能性がある事をご承知おきください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等が平成26年4月1日以後開始する連結会計年度の期首から適用できることになったことに伴い、
当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等(ただし、連結会計基準第39項に掲げられた定めを除く。)
を適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、
取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金が288,265千円減少しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,677,821	2,377,083
受取手形及び売掛金	630,591	923,708
商品及び製品	82,195	94,328
仕掛品	58,405	59,517
繰延税金資産	84,818	82,128
その他	62,070	83,087
貸倒引当金	△5,979	△6,117
流動資産合計	3,589,921	3,613,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,367	50,977
減価償却累計額	△30,317	△36,688
建物及び構築物（純額）	20,050	14,288
工具、器具及び備品	201,410	219,504
減価償却累計額	△161,867	△171,349
工具、器具及び備品（純額）	39,542	48,155
有形固定資産合計	59,592	62,443
無形固定資産		
ソフトウェア	305,927	303,749
その他	7,665	6,165
無形固定資産合計	313,592	309,915
投資その他の資産		
投資有価証券	2,500	2,500
差入保証金	44,890	61,298
長期滞留債権	40,576	41,727
繰延税金資産	132,416	80,388
その他	3,000	3,000
貸倒引当金	△40,576	△41,727
投資その他の資産合計	182,806	147,187
固定資産合計	555,991	519,546
資産合計	4,145,913	4,133,281

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	213,298	215,639
未払金	146,928	191,045
未払役員賞与	17,876	-
短期借入金	180,000	130,000
1年内返済予定の長期借入金	-	56,000
未払法人税等	108,242	94,557
前受金	246,339	346,386
賞与引当金	23,920	18,012
役員賞与引当金	-	11,509
返品調整引当金	17,275	12,502
その他	171,021	143,027
流動負債合計	1,124,901	1,218,680
固定負債		
株式給付引当金	9,510	9,280
長期借入金	-	224,000
固定負債合計	9,510	233,280
負債合計	1,134,411	1,451,960
純資産の部		
株主資本		
資本金	826,064	826,064
資本剰余金	616,734	328,469
利益剰余金	1,430,329	1,633,768
自己株式	△259,385	△259,385
株主資本合計	2,613,742	2,528,916
少数株主持分	397,759	152,404
純資産合計	3,011,501	2,681,320
負債純資産合計	4,145,913	4,133,281

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,452,652	2,949,655
売上原価	1,446,411	1,775,115
売上総利益	1,006,241	1,174,539
返品調整引当金繰入額	2,050	-
返品調整引当金戻入額	-	519
差引売上総利益	1,004,190	1,175,059
販売費及び一般管理費	712,111	806,092
営業利益	292,078	368,966
営業外収益		
受取利息	198	263
補助金収入	600	-
為替差益	-	552
保険解約返戻金	-	737
その他	107	460
営業外収益合計	906	2,014
営業外費用		
支払利息	632	549
為替差損	1,160	-
その他	144	-
営業外費用合計	1,938	549
経常利益	291,046	370,431
税金等調整前四半期純利益	291,046	370,431
法人税、住民税及び事業税	82,446	89,794
法人税等調整額	43,909	54,717
法人税等合計	126,355	144,512
少数株主損益調整前四半期純利益	164,691	225,919
少数株主利益	39,331	22,479
四半期純利益	125,359	203,439

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	164,691	225,919
四半期包括利益	164,691	225,919
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	125,359	203,439
少数株主に係る四半期包括利益	39,331	22,479

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	291,046	370,431
減価償却費	99,506	106,658
貸倒引当金の増減額(△は減少)	889	1,287
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,821	△5,907
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△2,366	△4,773
受取利息及び受取配当金	△198	△263
支払利息	632	549
売上債権の増減額(△は増加)	80,049	△293,116
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,423	△13,244
仕入債務の増減額(△は減少)	3,332	2,341
前受金の増減額(△は減少)	60,573	100,047
その他	12,666	△35,401
小計	539,733	228,608
利息及び配当金の受取額	198	263
利息の支払額	△611	△644
法人税等の支払額	△95,857	△103,136
法人税等の還付額	457	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	443,920	125,092
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,892	△20,174
無形固定資産の取得による支出	△91,175	△80,332
子会社株式の売却による収入	35,765	-
差入保証金の差入による支出	△21,545	△6
差入保証金の回収による収入	180	232
投資活動によるキャッシュ・フロー	△82,668	△100,282
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△15,000	△50,000
長期借入れによる収入	-	280,000
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△284,275
子会社の自己株式の取得による支出	-	△271,825
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,000	△326,100
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	552
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	346,252	△300,737
現金及び現金同等物の期首残高	2,058,490	2,677,821
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,404,742	2,377,083

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年5月1日開催の取締役会決議に基づき、連結子会社であるソフトブレン・フィールド株式会社の株式を追加取得いたしました。また、ソフトブレン・フィールド株式会社は、同年5月15日に開催された同社の臨時株主総会決議に基づき、自己株式の取得を実施いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が288,265千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が328,469千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	eセールスマネージャー関連事業	フィールドマーケティング事業	システム開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,341,961	808,056	226,801	75,832	2,452,652	-	2,452,652
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,975	12,595	33,719	3,718	59,008	△59,008	-
計	1,350,937	820,652	260,521	79,550	2,511,661	△59,008	2,452,652
セグメント利益	128,584	152,726	257	8,724	290,294	1,784	292,078

(注) 1. セグメント利益の調整額1,784千円には、固定資産の調整額1,938千円、棚卸資産の調整額△154千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	eセールスマネージャー関連事業	フィールドマーケティング事業	システム開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,510,369	1,089,445	227,826	122,013	2,949,655	-	2,949,655
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,180	6,593	25,931	-	41,704	△41,704	-
計	1,519,550	1,096,038	253,757	122,013	2,991,360	△41,704	2,949,655
セグメント利益	180,308	159,385	405	28,449	368,548	417	368,966

(注) 1. セグメント利益の調整額417千円には、固定資産の調整額478千円、棚卸資産の調整額△60千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来、「その他」に含まれておりました「出版事業」の量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載しております。また、同じく「その他」に含まれておりました「iPad等を活用した業務コンサルティング及び教育事業」については、「eセールスマネージャー関連事業」に付帯する要素が高まったため、「その他」から「eセールスマネージャー関連事業」に含めることといたしました。

これにより、報告セグメントを従来の「eセールスマネージャー関連事業」、「フィールドマーケティング事業」及び「システム開発事業」の3区分から、「eセールスマネージャー関連事業」、「フィールドマーケティング事業」、「システム開発事業」及び「出版事業」の4区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(企業結合関係)

共通支配下の取引等

(子会社株式の追加取得及び子会社による自己株式取得)

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 ソフトブレン・フィールド株式会社

事業の内容 フィールドマーケティング事業

(2) 企業結合日

平成27年4月1日(みなし取得日)

(3) 企業結合の法的形式

少数株主からの株式取得

(4) 結合後企業の名称

名称の変更はありません。

(5) その他取引の概要に関する事項

当社は、業種業界を問わず3,000社を超える企業に営業支援システム「eセールスマネージャーRemix Cloud」(SFA/CRM)を提供することに加えて、コンサルティング・教育サービスなどを通じて、多くの企業様の営業改革を支援しております。並行して、特に日本の消費財メーカーの課題解決を支援するべく、ソフトブレン・フィールド株式会社を平成16年7月に設立し、フィールドマーケティング事業に取り組んでまいりました。このたび、グループ経営の効率化と、さらなるシナジー効果の発揮を目的として、ソフトブレン・フィールド株式会社の株式を追加取得いたしました。

2. 実施した会計処理の概要

当社におけるソフトブレン・フィールド株式会社の株式追加取得については、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日公表分)に基づき、共通支配下の取引等として処理を行いました。

ソフトブレン・フィールド株式会社における自己株式取得については、「自己株式及び準備金の額の減少等に関する会計基準」(企業会計基準第1号平成18年8月11日)及び「自己株式及び準備金の額の減少等に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第2号平成18年8月11日)に基づき会計処理を行いました。

3. 子会社株式の追加取得及び子会社による自己株式取得に関する事項

取得原価及びその内訳

(子会社株式の追加取得)

取得の対価(現金及び預金) 284,275千円

取得原価 284,275千円

(子会社による自己株式取得)

取得の対価(現金及び預金) 271,825千円

取得原価 271,825千円

4. 少数株主との取引に係る親会社の持分変動に関する事項

(1) 少数株主との取引によって減少した資本剰余金の金額

288,265千円

(2) 主な変動要因

当社による子会社株式の追加取得の取得原価及び子会社による自己株式取得の取得原価と、当該取得に伴う少数株主持分の減少額との差額によるものであります。